

これからの測量設計業はこう変わる

『測量会社 イン트라ネット活用術』

FROM: ASAHI SURVEY & PLANNING OFFICE CO., LTD.



～ I T を活用した業務改革への取組み～

2001.3.2

株式会社 朝日測量設計事務所
代表取締役 小林 敏郎

■ 目次

【 1 】 社内情報化活動のあゆみ

- (1) 社内情報化プロジェクト計画の概要
- (2) プロジェクトの整備記録
- (3) イン트라ネット整備概要
- (4) 社内情報化整備の結果として

【 2 】 当社経営と情報化を取り巻く課題

【 3 】 I T を活用した業務改革の方針

【 4 】 I T を活用した業務改革への取組み

【 5 】 現段階までの評価

【 6 】 まとめ



【 1 】 社内情報化活動のあゆみ

(1) 社内情報化プロジェクト計画の概要

基本方針

準備、構築、運用は極力社員全員で行う

整備目標

- ・社内連絡体制の再構築
- ・情報の共有化
- ・社外との情報伝達の緊密化

整備内容

- ・インターネット、電子メール環境整備
- ・グループウェア導入
- ・互換を考慮した社内データ形式の統一化

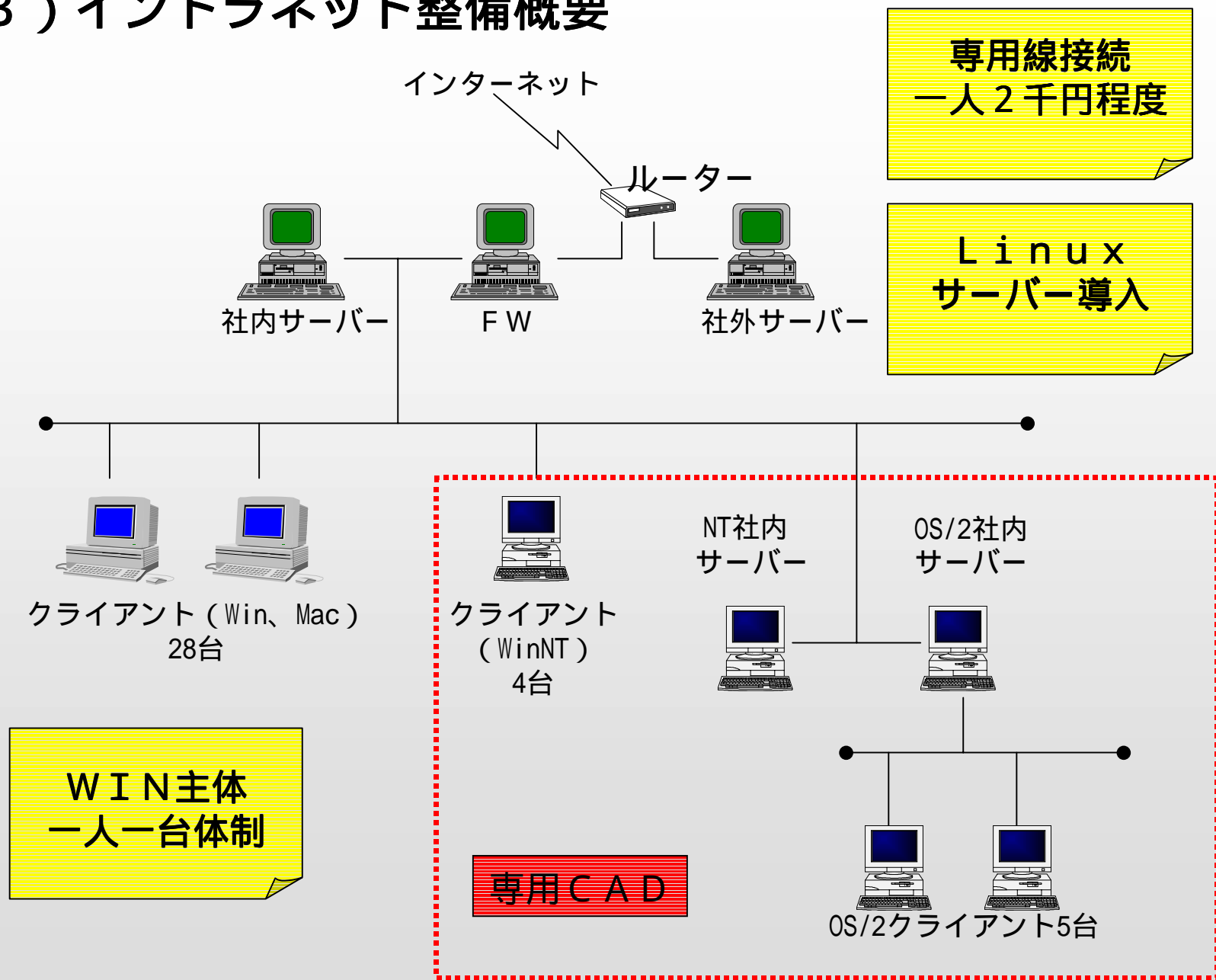
整備手法

- ・社員から選抜(若手社員5名)＋経営者
- ・短期間専属に従事させる
- ・システム管理者育成(1名)

(2) プロジェクトの整備記録

日時	インフラ整備	受け入れ体制整備
1998年7月	経営者自身による社内情報化の意思表示	
1998年8月	プロジェクトチーム発足・全体ミーティング開催	
1998年9月	Mac・Win共存整備計画立案 インフラ発注 体験実験 開始 クライアントマシン 配布	社内での報告体制立案 ①アンケート調査②改善策立案 ③社内報告会(3回)④合意
1998年10月	Linuxサーバー導入 社内外メールアドレス配布 専用線接続開始 グループウェア導入	新連絡体制導入
1998年11月	社内ホームページ開設	
1998年12月	社外ホームページ開設	社員参加型のサイト運営を目指し、編集部員は経営者と開発部

(3) イン트라ネット整備概要



専用線接続
一人2千円程度

Linux
サーバー導入

WIN主体
一人一台体制

専用CAD

(4) 社内情報化整備の結果として

■社員意識の変化

「毎日パソコンに向かう習慣は出来上がった」

- ・年代を問わず、朝出勤後の当たり前の社内風景
- ・グループウェアでのスケジュール、掲示板の業務への利用度が増加
- ・掲示板→毎日10件程度投稿
- ・私宛の社内メール→約一年半で2400通一日平均約10通
- ・ネット在宅社員の受入体制 ★[ネット社員の紹介](#)
- ・自宅でのネット環境整備 ★[ネット環境実態調査結果](#)

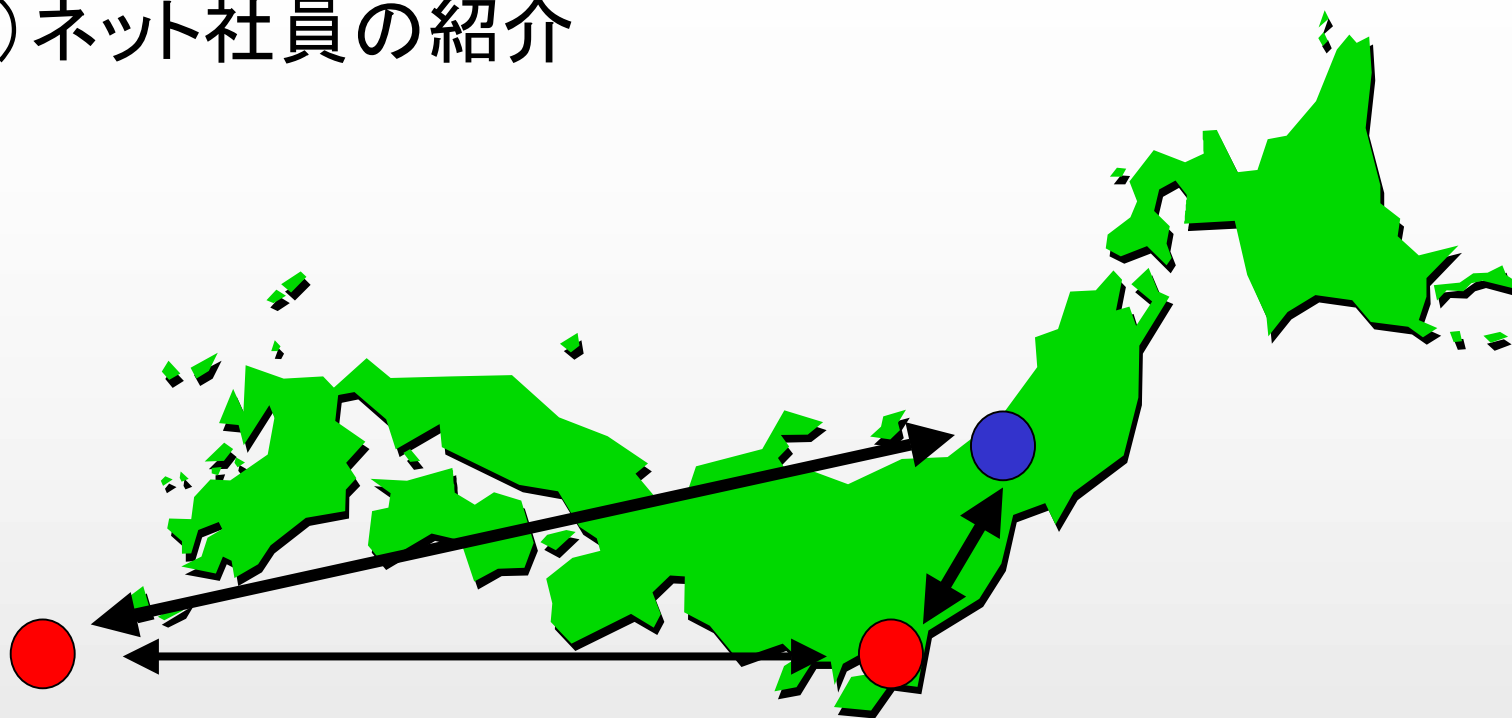
■経営者意識の変化

「社長である私が一番使っている」

- ・社員との対話時間が増えた
- ・情報をより多く取り入れ、社内に伝達
- ・毎日HP(Owner通信)更新



(参考) ネット社員の紹介



【勤務地】**沖縄**

【転勤】平成12年4月

【所属】技術部設計課

【業務】設計業務全般

【転勤理由】実家に戻るため



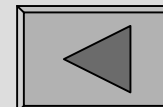
【勤務地】**東京**

【転勤】平成10年4月

【所属】開発部企画室(設計課兼務)

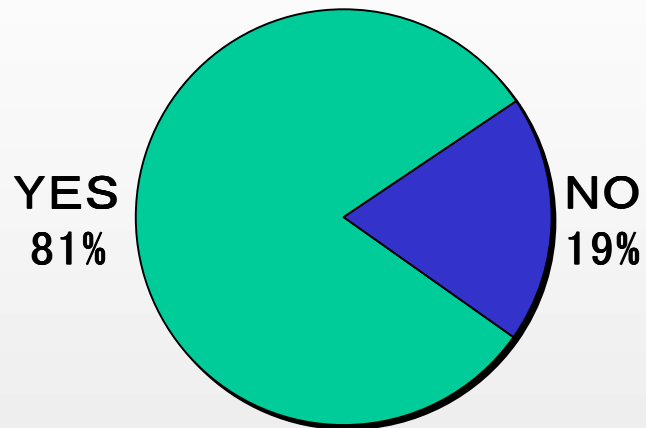
【業務】デザイン業務・HP編集

【転勤理由】結婚



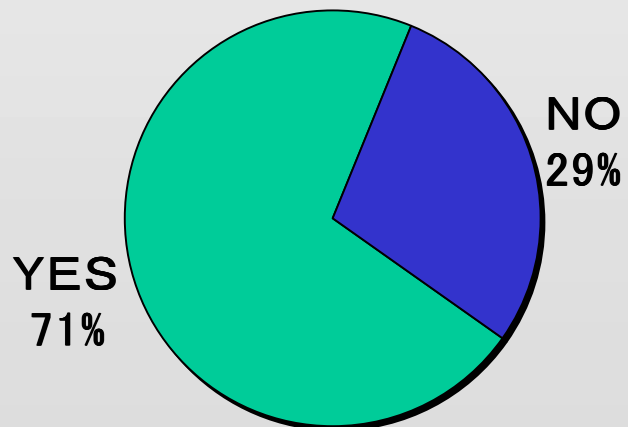
(参考) ネット環境実態調査結果

Q1. 自宅にパソコンを所有しているか(26名中)

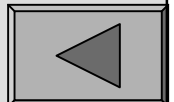


A1.
所有している 21名(81%)
所有していない 5名(19%)

Q2. インターネットに接続できるか(21名中)

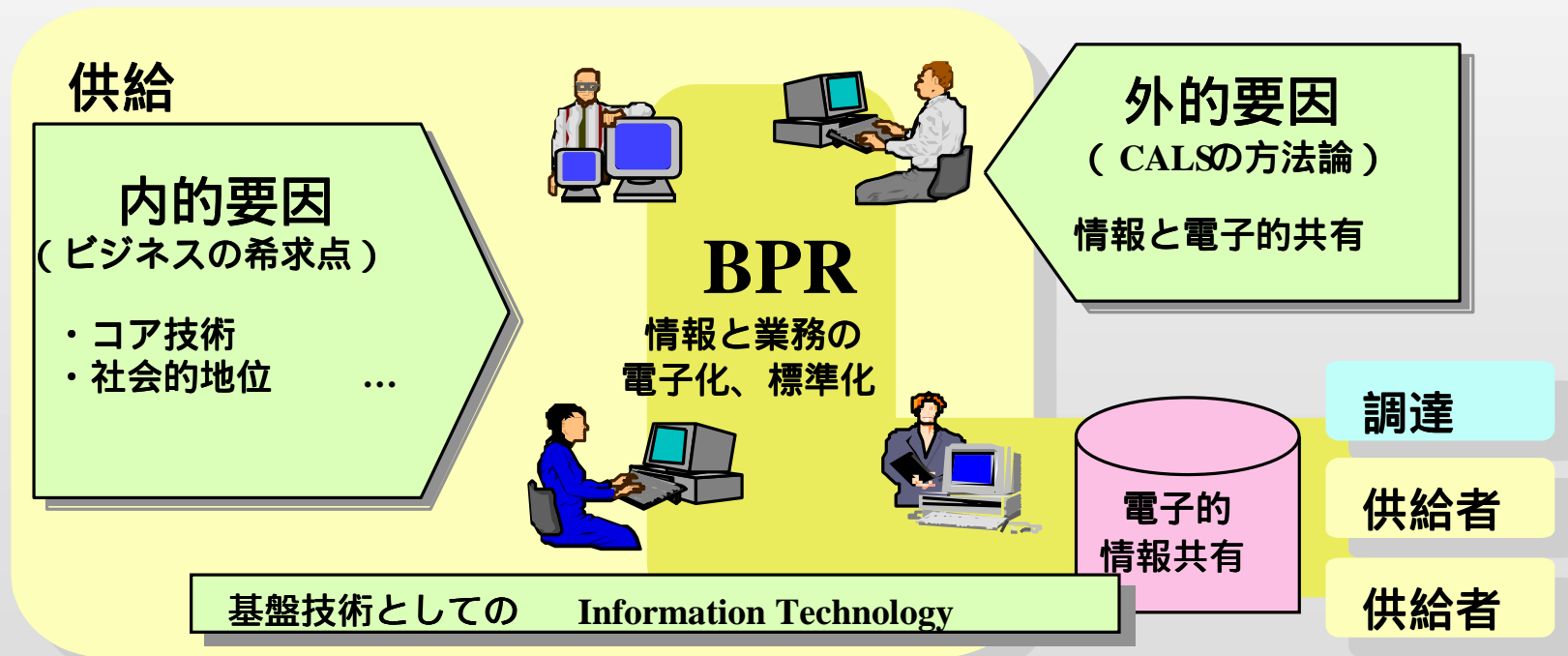


A2.
接続できる 15名(71%)
接続できない 6名(29%)



【 2 】 当社経営と情報化を取り巻く課題

- ・コミュニケーション、情報共有は活発になってきたが、経営方針が浸透した、社員相互の協働を実践するための機能が弱い。
- ・このような状況から、今後の経営の方向性と情報戦略・情報インフラを整備しなおし、ITを活用した業務改革のしくみを再構築することが急がれる。



【 3 】 I T を活用した業務改革の方針

1. 経営戦略の見直しと再構築

- ・ 社内合意形成手法により当社の事業戦略を再構築し、社員相互の共通認識を深める
- ・ 更に経営戦略を社員全員が再確認し、全体情報化計画、個別情報化計画策定に繋げる

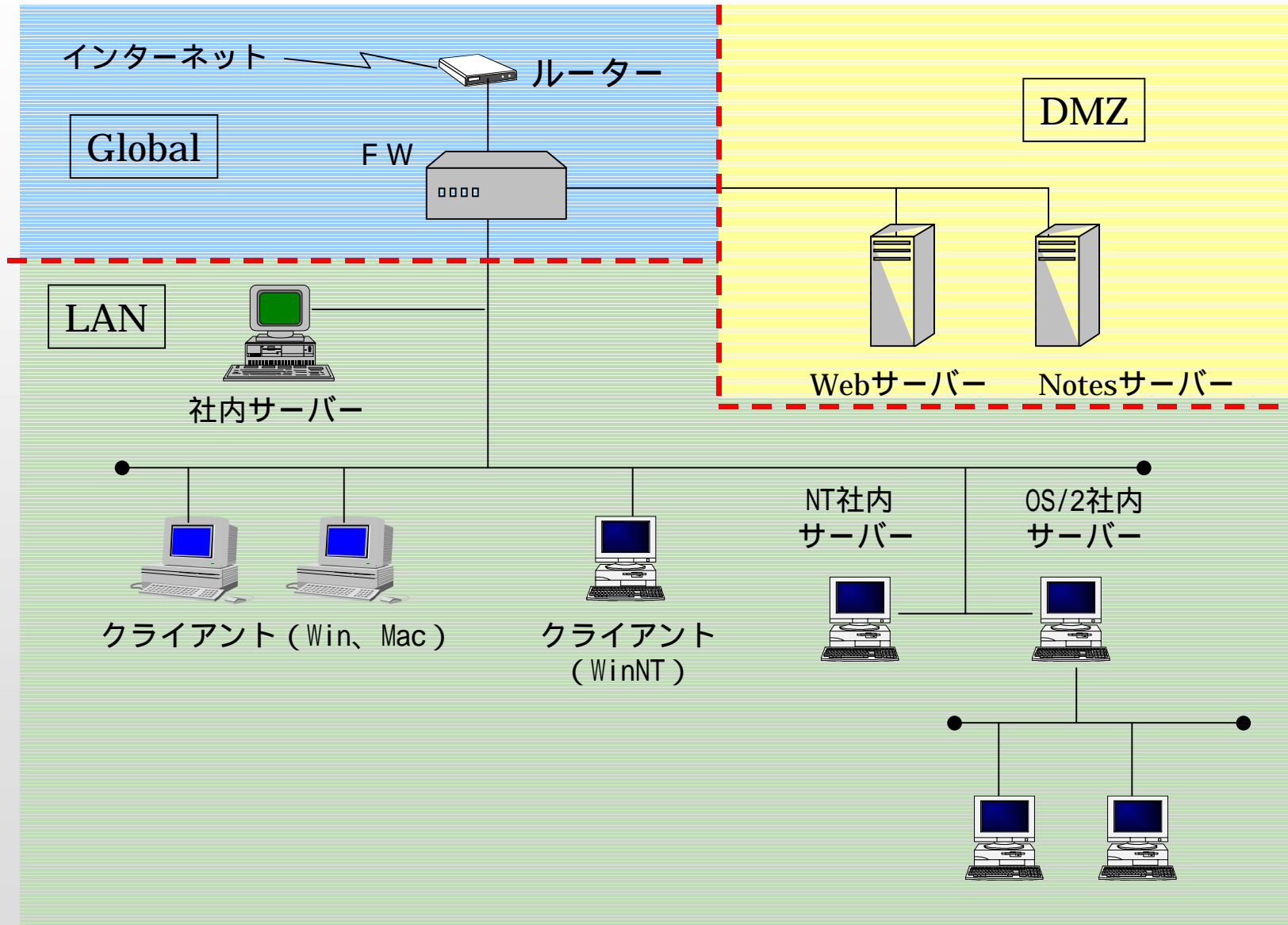
2. 情報システムの改訂と再構築

- ・ 日頃の業務、部門間にまたがる現実の問題を現場の視点から把握し、改善活動（業務プロセスの改善）を通して全社情報化がうまく機能するために必要な基本的考え方、ノウハウ習得
- ・ 業務プロセスの改善と並行しインターネットを活用した新しい情報通信基盤の再構築
- ・ 情報システムを活用した社員の問題解決能力の向上、教育の実践

【 4 】 I T を活用した業務改革への取組み

日 時	活 動	参加者	概 要
2000年5月	第 1 回社内情報化会議	7 名	社内業務分析支援
2000年6月	第 2 回社内情報化会議	9 名	グループ別問題点把握活動
	第 1 次情報システム改訂実施（新規グループウェア導入）		
2000年7月	第 3 回社内情報化会議	1 1 名	グループ活動支援
2000年8月	社内集中セッション 2 日間	全社員	グループ活動発表・評価
2000年9月	第 5 回社内情報化会議	1 2 名	グループ改善活動支援
	第 2 次情報システム改訂実施（サーバ増強・セキュリティ強化）		
2000年10月	第 6 回社内情報化会議	1 3 名	事業戦略セッション
2000年12月	第 7 回社内情報化会議	1 7 名	新規事業セッション
	第 3 次情報システム改訂一部実施（グループウェア活用）		
2001年1月	経営改善宣言実施、PJ活動開始（経営企画、課別改善活動、広報）		
	第 8 回社内情報化会議	1 5 名	P J 活動支援
2001年2月	第 9 回社内情報化会議	1 7 名	経営企画 P J 活動支援

【参考】第二次改訂（サーバ増強、セキュリティ強化他）



【参考】第三次改訂（グループウェア活用）

グループウェアを活用した新しい業務システムの構築

- ・ 文章管理の仕組み構築（予定）
- ・ 業務改善のための各種データベースの企画、開発、導入
- ・ 日常業務の権限委譲：各種電子決済システムの導入（予定）

業務改善のための各種データベースの企画、開発、導入例

業務	最終情報	業務の流れ1次	業務の流れ2次	INPUT 情報	OUTPUT 情報
日常 業務	掲示板	伝達事項の回覧	全社員が内容確認	記録簿	Q&A
	会議室	質問対応、討議		議事録	Q&A
営業 活動	営業情報	業務担当者の入手情報を記録し伝達する	営業担当が内容確認後継続的な活動実施	入手情報	活動記録
	入札情報	入札指名通知を記録し伝達	営業担当が内容確認	入札情報	入札記録
	入金速報	入金内容を伝達	業務担当者が御礼の挨拶実行	入金情報	入金記録
工程 管理	作業報告	日々の業務内容の報告	業務担当者が内容確認	業務報告	業務記録
	動静表	行動・残業予定を伝達	関係者が内容把握	行動予定	行動記録

【 5 】 現段階までの評価

経営戦略の見直しと再構築

- ・ 自主参加の情報化会議を月一回合計 9 回、グループ活動は47回ミーティングが行われ、3テーマの改善活動が実施された
- ・ 現在、全社員参加による企業ビジョン策定、品質管理、広報活動プロジェクトが実施されている
- ・ しかし、共通認識には個人差があり、成果が上がるまでには、まだ時間を要す状態である

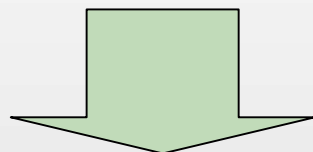
情報システムの改訂と再構築

2月に実施したグループウェア利用に関するアンケート調査に対し、回答した20名の意見を以下のように整理した

- ・ 1日平均閲覧回数は2~3回（70%）が一番多い
- ・ システム導入後の社内メール送信数が減った（65%）と答え、情報掲載することへの抵抗はほとんどない（60%）と感じている
- ・ 自宅からの閲覧（接続可16名中）は、ほぼ毎日（25%）休日など（50%）と高く、情報共有意識は高まっている
- ・ 今後システムに望むこととして、業務に直結したシステム（35%）電子決済（ワークフロー）の導入（50%）となり、業務改善に向けてのITへの期待が高いと考えられる

【 6 】まとめ

- 当社が『ITを活用した業務改革への取組み』で経験し感じたこと
 - ・大事なことは、パソコンが使えるようになることではない
 - ・ITや情報化とは目的ではなく手段であり
 - ・コラボレーション(協働作業)ツールとして自由に使い
 - ・**組織文化**を改善することである



- 『技術者』の役割
 - ・多角的なチャンネルを持ち、日々**経験**する
 - ・その中で得られた**知識**を如何に活用し
 - ・**創造性のある仕事**に結びつける
- 『経営者』の役割
 - ・情報化を**経営の問題**として捉え
 - ・経営者自身が**明確な企業ビジョン**を示し
 - ・積極的な**リーダーシップ**



Say Cheese!

FROM: ASAHI SURVEY & PLANNING OFFICE CO., LTD.

株式会社 朝日測量設計事務所

代表取締役 小林 敏郎

E-mail ashowner@asahi-survey.co.jp

URL <http://www.asahi-survey.co.jp>